

【EC+mFOLFOX6療法について】

(5-FU+レボホリナート+オキサリプラチン+アービタックス+ビラフトビ)



ID:

様

-

コース目



お薬の名前と治療のスケジュール（副作用の状況を考慮して、抗がん薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。）

薬の名前		作用	めやすの時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	1日目			
アロカリス注 パロノセトロン注 デキサート注 ボラミン注	アレルギー予防・ 吐き気止め	30分																																	
アービタックス注	分子標的薬	2時間																																	
オキサリプラチン注 (エルブラット注)	抗がん剤	2時間		同時に点滴開始								この週はお休みです。								同時に点滴開始								この週はお休みです。							
レボホリナート注	5-FUの効果を 強める薬																																		
5-FU注	抗がん剤	15分																																	
5-FU注(持続)	抗がん剤	46時間																																	
ピラフトピカプセル	分子標的薬	1日1回																																	



● 治療による副作用

:注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
自覚症状	アレルギー様症状	発熱や寒気、吐き気、頭痛、めまい、じんましん、脈が速い、息苦しいなどの症状が出た場合はお知らせ下さい。																											
	食欲不振・吐き気	食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																											
	手足のしびれ	手足のしびれ、感覚が鈍るなどの症状が出ることがあります。冷たい物に触れないようにしましょう。																											
	口内炎	口の中が荒れて痛みが出ることがあります。歯磨き、うがいなど丁寧にしっかりと行いましょう。																											
	色素沈着	肌が黒ずむことがあります。長袖や帽子などを用いて、日光など紫外線には注意してください。																											
	脱毛(頭髮・まつ毛・眉毛など)	髪質が少し変わることもありますが、治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。																											
	皮膚症状(皮疹、乾燥、爪囲炎など)	にきびのような発疹ができたり、皮膚が乾燥してひび割れができることがあるので、保湿剤を使うなどして予防しましょう。爪の周りに腫れや痛みが出ることがあります。																											
	眼障害	視力が下がる、虫が飛んでるように見える、眼の充血、いつもよりまぶしく感じる、近くの物のピントが合いにくいなどの症状が出た場合はお知らせ下さい。																											
検査値	白血球減少	感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																											
	赤血球減少(貧血)	貧血の症状(動作時の息切れ、動悸)がでたりします。転倒に注意しましょう。																											
	血小板減少	出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																											
	肝機能低下	体がだるい、食欲がでない、皮膚のかゆみ、皮膚や白目が黄色くなる場合があります。																											

その他、急にイボができて大きくなる、表面がテカテカした青黒いほくろの様なイボができる、皮膚の表面がただれる、手足に力が入らない。

心機能障害(動くと苦しい、息切れ、呼吸困難、脈が乱れる、疲れやすい)等の症状があればご連絡ください。



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- *上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。